

礼拝者として生きる!

来たれ。私たちは伏し拝み、ひれ伏そう。

私たちが造られた方、主の御前に、ひざますこう。

主は、私たちの神。私たちは、その牧場の民、その御手の羊である。

(詩篇 95:6, 7)

「しかし、真の礼拝者たちが霊とまことによって父を礼拝する時が来ます。今がその時です。父はこのような人々を礼拝者として求めておられるからです。

神は霊ですから、神を礼拝する者は、

霊とまことによって礼拝しなければなりません。」

(ヨハネ 4:23, 24)

<神様に喜ばれる礼拝者となるために>

1. 自分のために 神様がして下さった ことを覚える事です。

(詩篇 103:2~5) わかたましいよ、主をほめたたえよ。主の良くして下さったことを何一つ忘れるな。

主は、あなたのすべての咎を赦し、あなたのすべての病をいやし、あなたのいのちを六から贖い、あなたに、恵みとあわれみとの冠をかぶらせ、あなたの一生を良いもので満たされる。あなたの若さは、鷺のように、新しくなる。

(ルカ 7:47) だから、わたしは『この女の多くの罪は赦されている』と言います。

それは彼女がよけい愛したからです。しかし少ししか赦されない者は、少ししか愛しません。」

2. 神様への 愛と感謝 をもって 賛美や祈り を捧げる事です。

(ヘブル 13:15) ですから、私たちはキリストを通して、賛美のいけにえ、

すなわち御名をたたえるくちびるの果実を、神に絶えずささげようではありませんか。

(出 35:21) 感動した者と、心から進んでする者とはみな、会見の天幕の仕事のため、

また、そのすべての作業のため、また、聖なる装束のために、主への奉納物を持って来た。

(黙示 8:3, 4) また、もうひとりの御使いが来て、金の香炉を持って祭壇のところに立った。

彼にたくさんの香が与えられた。すべての聖徒の祈りとともに、御座の前にある金の祭壇の上に

ささげるためであった。香の煙は、聖徒たちの祈りとともに、御使いの手から神の御前に立ち上った。

3. 日々神様に 自分自身 を捧げる事です。

(ローマ 12:1 リビング訳) 愛する皆さん。そういうわけですから、あなたがたにお願いします。

自分の体を神様にささげてください。それを、神様に喜んでいただける、生きた、きよい供え物としてください。神様がして下さったことを思えば、これは、決してむりな注文ではないはずです。

礼拝者として生きる!

来たれ。私たちは伏し拝み、ひれ伏そう。

私たちが造られた方、主の御前に、ひざますこう。

主は、私たちの神。私たちは、その牧場の民、その御手の羊である。

(詩篇 95:6, 7)

「しかし、真の礼拝者たちが霊とまことによって父を礼拝する時が来ます。今がその時です。父はこのような人々を礼拝者として求めておられるからです。

神は霊ですから、神を礼拝する者は、

霊とまことによって礼拝しなければなりません。」

(ヨハネ 4:23, 24)

<神様に喜ばれる礼拝者となるために>

1. 自分のために 神様がして下さった ことを覚える事です。

(詩篇 103:2~5) わかたましいよ、主をほめたたえよ。主の良くして下さったことを何一つ忘れるな。

主は、あなたのすべての咎を赦し、あなたのすべての病をいやし、あなたのいのちを六から贖い、あなたに、恵みとあわれみとの冠をかぶらせ、あなたの一生を良いもので満たされる。あなたの若さは、鷺のように、新しくなる。

(ルカ 7:47) だから、わたしは『この女の多くの罪は赦されている』と言います。

それは彼女がよけい愛したからです。しかし少ししか赦されない者は、少ししか愛しません。」

3. 神様への 愛と感謝 をもって 賛美や祈り を捧げる事です。

(ヘブル 13:15) ですから、私たちはキリストを通して、賛美のいけにえ、

すなわち御名をたたえるくちびるの果実を、神に絶えずささげようではありませんか。

(出 35:21) 感動した者と、心から進んでする者とはみな、会見の天幕の仕事のため、

また、そのすべての作業のため、また、聖なる装束のために、主への奉納物を持って来た。

(黙示 8:3, 4) また、もうひとりの御使いが来て、金の香炉を持って祭壇のところに立った。

彼にたくさんの香が与えられた。すべての聖徒の祈りとともに、御座の前にある金の祭壇の上に

ささげるためであった。香の煙は、聖徒たちの祈りとともに、御使いの手から神の御前に立ち上った。

3. 日々神様に 自分自身 を捧げる事です。

(ローマ 12:1 リビング訳) 愛する皆さん。そういうわけですから、あなたがたにお願いします。

自分の体を神様にささげてください。それを、神様に喜んでいただける、生きた、きよい供え物としてください。神様がして下さったことを思えば、これは、決してむりな注文ではないはずです。